

ジンバブエ共和国月報(2018年11月)

主な出来事

【内政】

- 20日、内閣は、地方自治法の修正案を承認した。
- 30日、国会議事堂建設事業の起工式が行われた。

【外政】

- 3日、ムナンガグワ大統領は、当国訪問中のナイドゥ印副大統領と会談を行った。
- 5～7日、ムナンガグワ大統領は、ギニア共和国を訪問し、コンデ・ギニア大統領と会談を行った。
- 8日、ムナンガグワ大統領は、当国を訪問中のクイック・ギリシャ外務副大臣と会談を行った。
- 17～18日、ムナンガグワ大統領はエチオピアで開催された第11回AU臨時総会に出席した。

【経済】

- 10月のインフレ率(年率)が20.85%に到達した。
- 22日、ヌーベ財務・経済開発大臣は議会に2019年度予算案を提出した。

【内政】

- 地方分権法案の内閣による承認

20日、ムチャングワ情報・広告・放送大臣は、定例閣僚会議後、報道陣に対して、内閣が、憲法との一貫性を保つために地方分権に係る地方自治法(Provincial Councils and Administration Act)の修正案を承認した旨述べた。(21日付ヘラルド紙)

- 中国政府の無償資金協力による国会議事堂建設事業の開始

11月30日、ムナンガグワ大統領臨席の下、ハラレ市中心部より北西に約20km離れたマウント・ハンブデンにおいて、中国政府が無償資金協力で支援する当国国会議事堂建設事業の起工式が行われた。右建設工事は、2021年に完了する見込みである。(12月1日付ヘラルド紙、12月3日付デイリー・ニュース紙)

【外政】

- 印副大統領による当国訪問

2～4日、ナイドゥ印副大統領は、当国を訪問し、以下の活動を行った。

- ✓ 3日、「ナ」副大統領は、ムナンガグワ大統領と会談した。
- ✓ 3日、当国及び印の両国は、入国管理、ICT、芸術・文化、鉱業、伝統的医学及び放送

などの6つの合意文書に署名した。

- ✓ 4日、「ナ」副大統領は、共同声明において、ワング火力発電所の改修工事に対する3.1億ドルの信用供与、マハトマ・ガンジー・会議センター建設に係る無償資金協力、印・ジンバブエ技術センターのアップグレードに対する293万ドルの無償資金協力、及び救急車10台、人命に係る医薬品並びに5つの専門分野における専門家の派遣などの当国への支援を発表した。(10月29日～11月5日付ヘラルド紙、4日付サンデー・メール紙)

● ムナンガグワ大統領によるギニア訪問

5～7日、ムナンガグワ大統領は、ギニア共和国を国賓として訪問し、コンデ・ギニア大統領と欧米諸国による当国に対する経済制裁について話し合った。また、7日、マテマ外務・国際貿易大臣代理は、コンデ・ギニア大統領主催のムナンガグワ大統領歓迎宴会において、当国政府とギニア政府による両国の協力に係る枠組み、両国による合同委員会設置、入国管理等に関する合意事項を含む共同声明を読み上げた。(6～8日付ヘラルド紙)

● ギリシャ外務副大臣による当国訪問

8日、クイック・ギリシャ外務副大臣は、当国を訪問し、ムナンガグワ大統領と経済協力などについて会談を行った。(9日付ヘラルド紙)

● ムナンガグワ大統領のAU総会出席

17～18日、ムナンガグワ大統領はエチオピアで開催された第11回AU臨時総会に出席した。「ム」大統領は、同総会において、アフリカ大陸における安全、安定、包括的な経済発展を促せるようにAUを無駄がなく、管理が行き届き、効率的かつ結果重視の組織へと改革することを当国が全面的に支持する旨述べた。(17・19日付ヘラルド紙、18日付サンデー・メール紙)

【経済】

● 中国企業による当国訪問

5日の週に、李(Li Jinyuan) Tiens Group 社(中国名:天津天獅集团有限公司)代表取締役は、当国に来訪し、ムナンガグワ大統領と会談した。(11日付サンデー・メール紙)

● 英企業による信用供与開始

8日、英企業の Gemcorp Capital 社のシュテレヴァ投資部長は、当国の輸入支援等に2.5億ドルの信用供与をしていく意向を示した。(9日付ヘラルド紙)

● 閣僚による中国国際輸入博参加

10日、シロケ産業・通商・企業開発大臣及びマジュル・ジンバブエ貿易庁長官は、上海で閉幕した中国国際輸入博覧会（China International Import Expo: CIIE）のサイドライ
ンイベントにおいて、当国におけるビジネス機会についてプレゼンテーションを行った。
（11日付サンデー・メール紙）

● 10月のインフレ率

13日、ジンバブエ統計局は、当国の10月のインフレ率（年率）を、20・85%と発表した。本イン
フレ率は、2008年にハイパーインフレが収束してから最高値となり、前月から約15%の上昇とな
った。本インフレ率は、10月に当国が外貨建て口座と国内専用口座に区別したこと起因する国
内建て通貨の信用低下と市民のパニック・バイイングの影響が表れている。（14日付ニュース・デ
ー紙）

● 投資事業の閣議決定

13日、総額約53億ドル11件の事業が閣議決定された。本閣議決定には、加企業及び中国企業
との合意が各々2件、米、英、香港との合意が各1件含まれる。（14日付ヘラルド紙）

● 当国のキンバリー・プロセス会議への出席

14日、チタンド鉱山・鉱山開発大臣は、キンバリー・プロセス（KP）会議に出席する
ため、ベルギーに到着した。「チ」大臣は、KP会議の後、アフリカ・ダイヤモンド生産協
会（African Diamond Producers Association: ADPA）とも面会した。（15日付ヘラルド
紙）

● 中国・安徽省経済団の当地来訪

14日、中国のXi'an 安徽省副書記（deputy governor）等、当国来訪中の安徽省経済団は、
ムナンガグワ大統領を表敬した。また、同日朝、当国産業・通商省と当地中国大使館は経
済フォーラムを共催し、同フォーラムでは、当国と中国・安徽省との間でルパンガ・ダム
の建設や自動車組立に係る2件の覚書が署名された。（15日付ヘラルド紙）

● 2019年度予算案の発表

22日、ヌーベ財務・経済開発大臣は、2019年度予算案を議会提出し、財政演説を行
った。同演説の中で、「ヌ」大臣は、歳出を削減する政策として、公務員人件費の削減、農
業補助金の削減、国営企業改革を行うことを表明した。また、同大臣は、歳入を増やすた
めの主な政策として、特定分野における外貨での納税や燃料に対する増税などを表明した。
（23日付ヘラルド紙）

● 産業・通商・企業開発副大臣による訪印

23日、モディ産業・通商・企業開発副大臣は、ニュー・デリーで開催されている第2回インド金・宝石サミットにおいて、当国及び印の貿易関係の強化を呼びかけた。また、24日、「モ」副大臣は、プラブ（Prabhu）印通商・産業大臣と会談した。（24・26日付ヘラルド紙）

● 新たなリチウム鉱山の開所

28日、ムナンガグワ大統領出席の下、ゴロモンジ地区に位置するアルカディア・リチウム鉱山が開所した。本鉱山の事業は、豪上場企業の Prospect Resources が手掛けるもので、初期経費として1億6500万ドルを投資し、700人以上を雇用する予定。（鉱山周辺の）道路、学校、住居等の建設も視野に入れている（29日付デイリー・ニュース紙）